



さくら



〈山口市の花木〉

山口県明るい選挙啓発標語

次の夏 私も選挙 初挑戦

☆山口県明るい選挙推進協議会会長賞
中村女子高等学校2年 伊藤綺音

将来を みすえて 投じて その一票

☆山口県選挙管理委員会委員長賞
山口市立大内小学校5年 本永麻樹

山口県明るい選挙啓発ポスター



☆山口県選挙管理委員会委員長賞
中村女子高等学校2年 丁田千聡

山口県明るい選挙啓発習字



☆山口県明るい選挙推進協議会会長賞
山口市立大内小学校1年 池田朱莉



☆山口県明るい選挙推進協議会会長賞
山口市立小郡中学校2年 関野稜介

夏の参議院議員選挙で18歳選挙スタート!

編集・発行

山口市明るい選挙推進協議会

(山口市選挙管理委員会事務局内)
電話 083-934-2877

夏の参議院選挙から、18歳選挙スタート!!

選挙権年齢70年ぶりに大改革

全国で、18歳と19歳の
未成年者約240万人が
新たに有権者となります

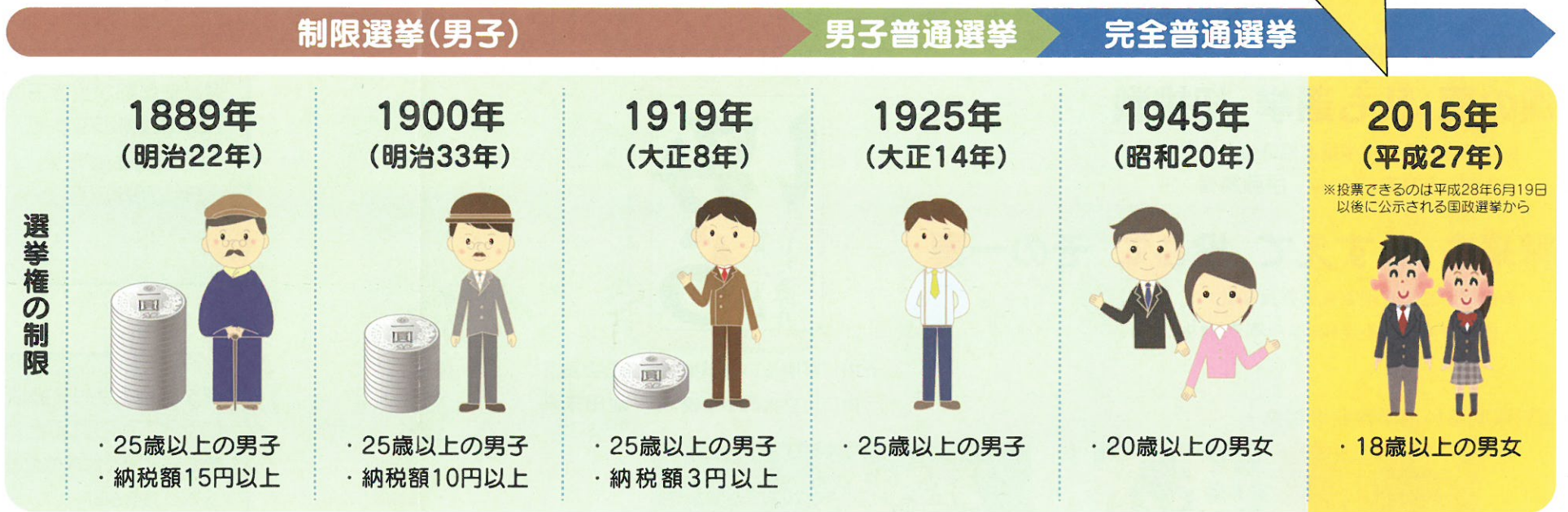
日本の選挙制度の歴史は、1889年（明治22年）から始まります。

1919年（大正8年）の選挙制度までは、選挙権は資産家の成人男性に限られていました。

その後、1925年（大正14年）の選挙法改正で財産による差別はなくなりましたが、女性の選挙権は認められませんでした。

1945年（昭和20年）の選挙法改正でようやく女性にも選挙権が与えられ、その翌年1946年（昭和21年）に男女平等の普通選挙が実施されました。

そして、今年夏の参議院議員選挙から選挙権年齢を「18歳以上」とする選挙法改正が行われ、いよいよ18歳と19歳の人投票できるようになりました。



18歳選挙を学ぼう

選挙権年齢を18歳以上に引き下げたのはなぜ?

日本は少子高齢化、人口減少社会を迎えています。未来を担う10代の皆さんにも、政治に参画してもらいたい。また、より早く選挙権を持つことにより、社会の担い手であるという意識を若いうちから持ち、主体的に政治に関わる若者が増えて欲しいという願いから、選挙権年齢が引き下げられました。

現在、世界各国の選挙権年齢は「18歳以上」が主流!

世界の9割近くの国は、日本の衆議院にあたる下院の選挙権年齢を「18歳以上」と定めていて、今後さらに引下げを進める動きもあります。ヨーロッパでは、既に「16歳以上」に引下げている国や地域もあります。

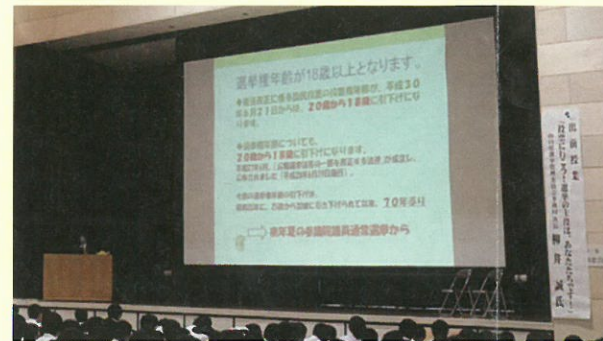
進学や就職で引っ越ししたら、住民票を移しましょう

選挙で投票するには、選挙人名簿に登録されていることが必要です。選挙人名簿への登録は住民票がある市区町村で行われますので、進学や就職により実家等を離れる場合は、住民票の届出（転出及び転入の届出）をしましょう。

高校で出前授業

18歳選挙について、昨年、市内の高校では初めて野田学園高等学校が山口県選挙管理委員会事務局の出前授業を受けました。

〈出前授業の様子〉



〈出前授業を受けて〉

『選挙権を得て』

野田学園高校 3年 田井隆之

今年は私にとって初めての選挙になる。18歳で投票ができることには嬉しい反面、不安もあった。そんな中での出前授業で選挙への不安はなくなり、投票に行こうと強く感じた。

今は少子高齢化社会だ。ただでさえ選挙権を持つ若者は少ない上に、投票に行くのは20代前半で4人に1人。また、選挙や政治に関心がない人が半数に近いと知って驚いた。

私たちは選挙を通して若者の声を政治に届けていかなければならない。選挙での投票は私たちが社会の一員として責任を果たすための行為である。市を、県を、そして国を変えていく若者としての自覚と責任を持ち、私は投票しようと思っている。

『私たちのための制度を活かす』

野田学園高校 2年 國吉珠実

選挙権年齢引き下げのニュースを聞いて、私はそれを自分のこととして感じる事ができませんでした。選挙のことは知っているけど、自分にはまだまだ先のことだと思っていたからです。今選挙権を得ても立候補者がどんな活動をしているかをどう知ったらよいか分かりません。でも、出前授業を受けて、インターネットで情報発信している政治家もいると聞き、私たちの世代にも受け取りやすい情報もあるんだと安心しました。

最近は投票する若者が減っていると聞きますが、このまま減り続けられれば若者の意見が今よりもっと反映されない社会になってしまいます。だから私は選挙権を得たら、若者の意見を伝えるために投票に行こうと思います。

ガ・センキョ クイズ

あなたの一票でくらしが変わる
共に学ぼう！

投票に行こう！



クイズに挑戦！

Q1

選挙権年齢が引き下げられたのは何年ぶり？

- A：50年ぶり
B：70年ぶり

Q2

日本の選挙制度が始まったのはいつ？

- A：1889年
(明治22年)
B：1900年
(明治33年)

Q3

男女平等の普通選挙が初めて実施されたのはいつ？

- A：1925年
(大正14年)
B：1946年
(昭和21年)

Q4

選挙権年齢が18歳以上に引き下げられると、有権者は全国で何人増える？

- A：約240万人
B：約420万人

Q5

世界の何割の国が、選挙権年齢を「18歳以上」にしている？

- A：7割近くの国
B：9割近くの国

Q6

選挙で投票するには、何に登録されていることが必要？

- A：電話帳
B：選挙人名簿



はがきで応募しよう！



あとがき

昨年の公職選挙法改正で、選挙権を有する者の年齢が「18歳以上」になり、今年の6月19日以後に公示される国政選挙から施行されますので、夏の参議院議員選挙から、いわゆる「18歳選挙」が始まる見込みです。これを契機に若い人たちが有権者としての自覚と政治への関心を持ち、ぜひ選挙権を行使してほしいと願い編集しました。編集を終えて、まず私たち大人が手本にならねばと改めて考えさせられました。

民主主義とは、主権者の国民が選挙によって代表者を選び、代表者が国民の意思決定機関として政治を行う訳ですから、より多くの方の意見を政治に反映させるためにも、一人でも多くの方が投票に参加してほしいものです。

答	Q1	Q2	Q3	Q4	Q5	Q6

◎応募資格

市内に在住の方

◎応募方法

4月15日(当日消印有効)までに、はがきに

①答え(Q1~6) ②郵便番号

③住所 ④氏名 を明記し

〒753-0074

山口市中央五丁目14番22号

山口市選挙管理委員会事務局内

山口市明るい選挙推進協議会へ送ってください。

◎当選者の発表は、正解者の中から抽選で30名の方に、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

◎個人情報適切に取扱い、目的外には使用しません。